

## 2024年度 知床ディスタンスキャンペーン実施計画

### 1. 実施方針

本キャンペーンは2020年から実施しているが、未だに撮影等を目的に停車・降車してしまう事例やヒグマ等に不用意に近づく事例は後を絶たず、今後も根気強く発信を続けていく必要がある。

2024年度から2年間に渡って実施する国立公園・世界遺産周年事業の目的の中にも「良質な自然体験の創出と、これらを持続可能に実施するためのルールやリスク管理について広く発信する」ことを掲げており、本取組はその手段の一つとしても位置づけられることから、各種イベントやシンポジウムにおいて野生動物と適切な距離を取ることを知床のルールとして発信する。

ディスタンスカード配布や情報発信、イベントでの普及啓発など、既存の取組は継続して実施し、知床の課題や取組みに対して興味関心の少ない来訪者層（ライト層）でも観光動線上で自然とルールを身に付けられるような発信方法を意識する。

### 2. 実施主体

本部会構成団体

### 3. 実施内容（案）

#### 1) ディスタンスカードなど普及啓発物の配布・掲示

- ・ 各施設を訪れた利用者へ普及啓発物を配布する。(継続)
- ・ 斜里町内の施設においてポスターを掲示する。(継続)

#### 2) Web サイトや SNS での情報発信

- ・ ハッシュタグ「#ニンゲンもクマも距離感が大切」を活用し、認知度向上を図る。(継続)
- ・ 自然情報に特化していない広報媒体への働きかけを行う。(検討中)

#### 3) 道路（国道334号線および道道知床公園線）での注意喚起

- ・ 電光掲示板において注意喚起を行う。(継続)
- ・ 「ここはヒグマの生息地」看板を設置する。(継続)

#### 4) イベントへの出展

- ・ 地域外からの来訪者が多く集まるイベントに「知床ディスタンスキャンペーン」として出展し、効果的な周知を図る。(継続)
- ・ 他のキャンペーン・取組とも連携し、相乗効果を図る。(継続)